

令和4年度 神奈川県立横浜明朋高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、勤務規律の徹底）	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行を未然に防止する。	公務員としての倫理意識や法令遵守意識の向上を図るため、職員全員を対象とした職場研修や管理職による面談等を実施した結果、職員の法令遵守の意識の向上につながった。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員間のハラスメントを未然に防止し、すべての職員が働きやすい校内体制を構築する。	啓発資料等を活用してハラスメントに該当する具体例を示しながら、自らの言動を振り返り考える機会を設け、風通しのよい職場づくりを推進した。
生徒に対するセクハラ・わいせつ行為の防止	人権を尊重し、セクハラ（スクール・セクハラを含む）やわいせつ行為の発生を未然に防止する。	管理職による面談や研修等を通して生徒との私的な連絡を厳禁するとともに、適切な連絡方法の徹底を図った。職員啓発資料や事例集を基に、職員全員を対象とした職場研修を実施した。また、打合せ等で事故や不祥事の報道を示して注意喚起を行った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	職員啓発資料や事例集を基に、職員全員を対象とした職場研修を実施した。また、生徒指導に際して複数の職員での対応を基本とし、その徹底を図った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路指導関連業務の遂行を適正に行い、不祥事を未然に防止する。	入学者選抜、成績処理及び進路指導関連業務に係る事故・不祥事の事案について職員に周知し、事故防止意識の向上を図った。また、当該業務を行うに当たって、マニュアル等を再確認して作業を行った結果、職員全体が事故防止を意識して業務を行うことができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の管理に係る意識を高め、個人情報の流出を未然に防止する。	個人情報の収集及び持ち出しに関する手続きを周知して漏洩を防いだ。また、啓発資料を用いた職場研修を実施して、個人情報に扱い対する意識の向上を図った。文書の廃棄に際しては、文書の法定保存期間を確認し、廃棄・保存の事故を防止した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック、体制、業務協力体制）	報告・連絡・相談体制を徹底し、気にかかっていることを互いに話せる風通しのよい職場づくりを進めるとともに、事故に対する各職員の予見能力を引き出せる環境を作る。	点検体制の充実を図り、チェックポイントを明確にするとともに相互に協力して、事故を防止する意識の向上を図った。今後は各年次間の情報の共有化に努め、なお一層の円滑な業務体制を作る必要がある。
財務事務等の適正執行	私費会計の執行マニュアルを確認し、処理方法を徹底する。担当者の相互点検を徹底し、事故の発生を未然に防止する。	各会計担当に私費会計基準を周知・確認するとともに、会計監査や財務事務調査の結果を周知して、適正に会計処理・管理を行った。転退学者の返金作業については、より迅速に処理を行う必要がある。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

事故・不祥事の防止に関しては、風通しの良い職場環境の維持に努め、日ごろからさまざまな場面での研修等を実施して、職員の啓発に取り組んできた。令和4年度は、成績資料・進路資料の作成や私費会計処理等において、各グループや担当者が中心となって、事故防止に取り組むことができた。令和5年度も職員間のコミュニケーションの充実を図り、より一層風通しのよい職場環境を構築することが必要である。また、事故・不祥防止を職員全員が自身のこととして認識できるよう、継続して研修内容の充実を図りたい。